

分野別目標1

安定した雇用を生み出す 産業が元気なまち

1-1 地域を支える既存産業の振興

1-1-1 地域を支える既存産業の振興

1-2 新たな事業の創出と産学官金・異業種連携の促進

1-2-1 新たな事業の創出と産学官金・異業種連携の促進

1-3 農林水産業の活性化

1-3-1 農林業の振興

1-3-2 水産業の振興

1-4 観光の稼ぐ力の強化

1-4-1 観光客受入体制の整備

1-4-2 観光客の誘致

1-5 国際交流の推進

1-5-1 国際交流の推進

1-5-2 国際戦略の推進

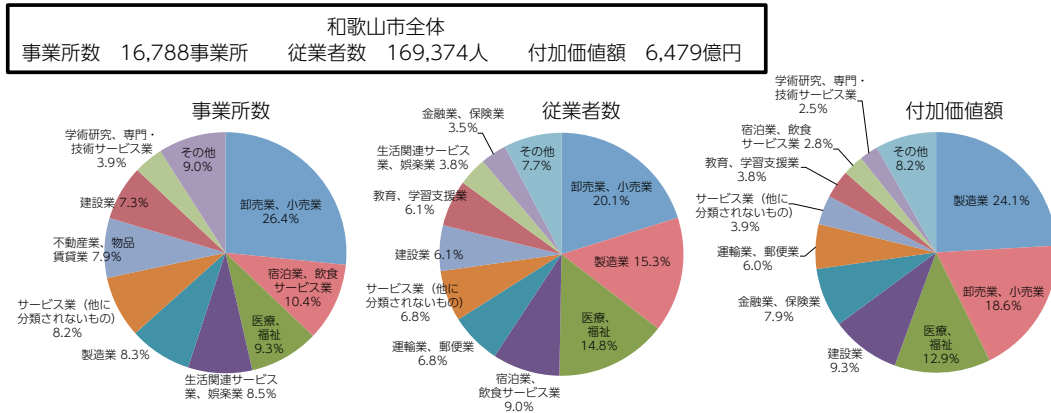
1-6 産業を支える「人」の確保

1-6-1 産業を支える「人」の確保

・現状と課題・

1-1 地域を支える既存産業の振興

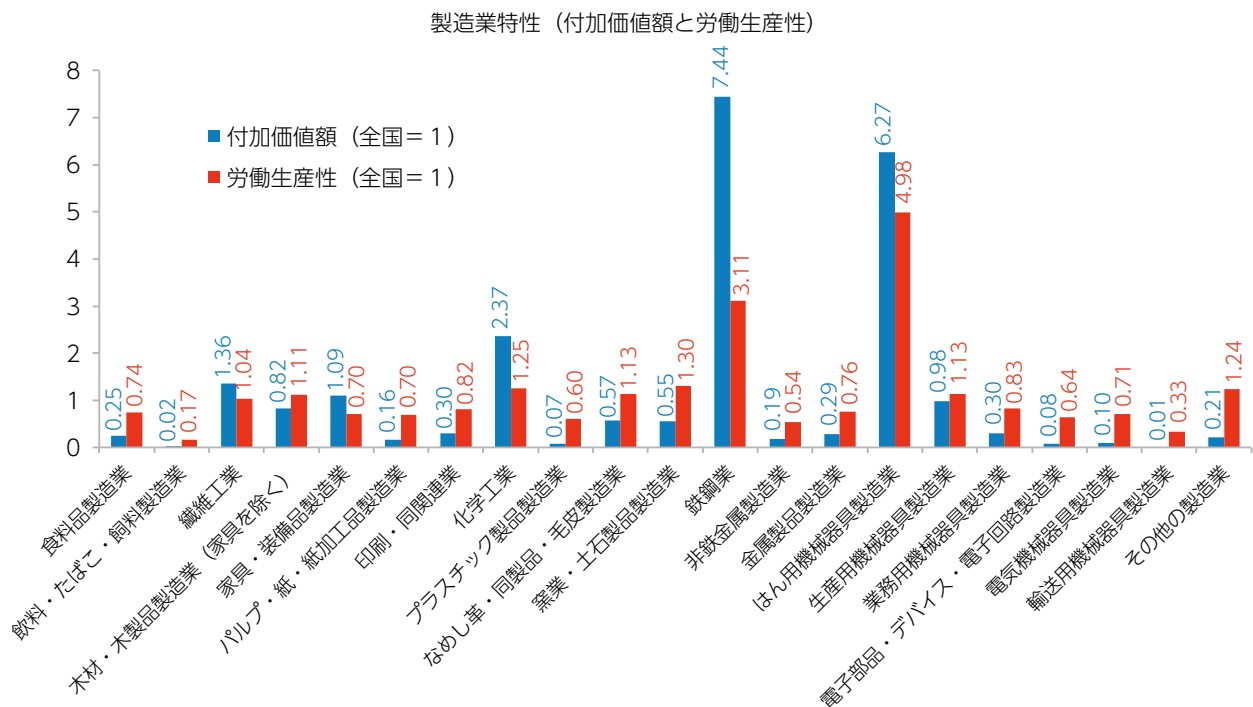
本市の産業構造は、事業所数・従業者数では卸売業・小売業の占める割合が、付加価値額*²⁴⁰では製造業の占める割合が最も高くなっており、域外から多くの資金を獲得する製造業と、多くの雇用を創出し日常生活に密接に関連した小売業をはじめとするサービス産業が本市の経済を支えています。



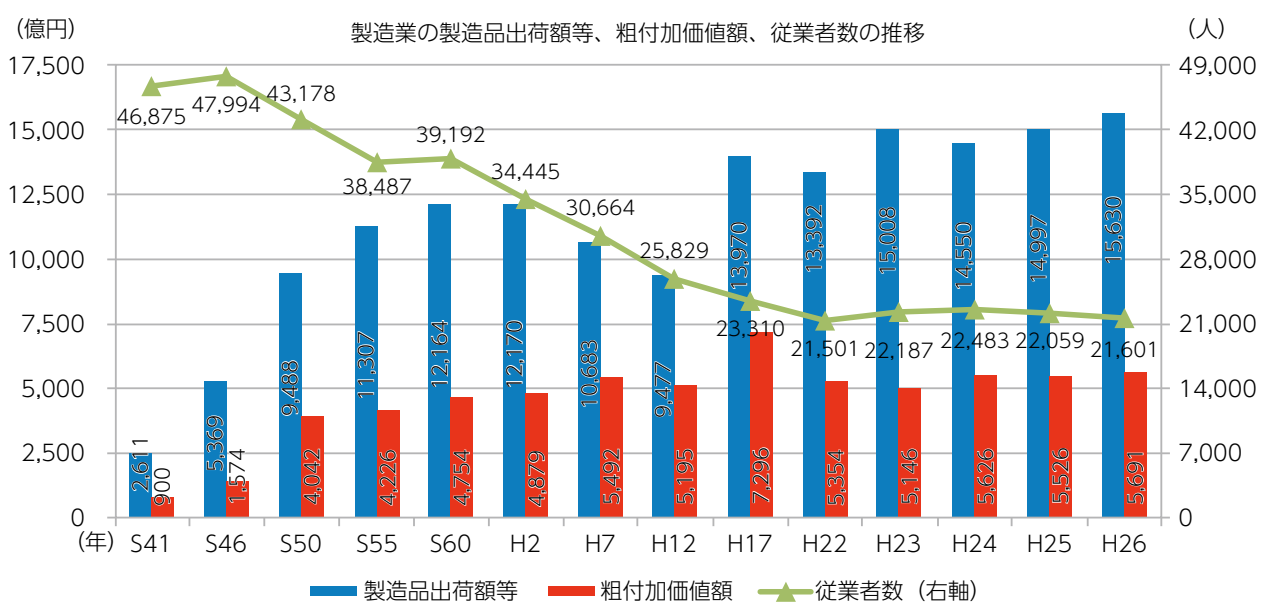
出所 総務省「平成24年経済センサス活動調査 (付加価値額)」、「平成26年経済センサス基礎調査 (事業所数、従業者数)」

本市では、製造業の付加価値額の割合や労働生産性*²⁷³が全国水準を上回るなど、競争力の高い製造業が集積しています。特に、化学工業・鉄鋼業・はん用機械器具製造業は、全国水準に比べ、付加価値額の割合が高く、本市の主要産業となっています。製造業について長期的にみると、従業者数は減少していますが、製造品出荷額等、粗付加価値額*⁹ともに増加傾向にあります。高い技術力を持った企業の持続的な発展に向けた支援を行うとともに、本市の経済への波及効果が大きい中核的企業の発掘と成長促進が必要となります。

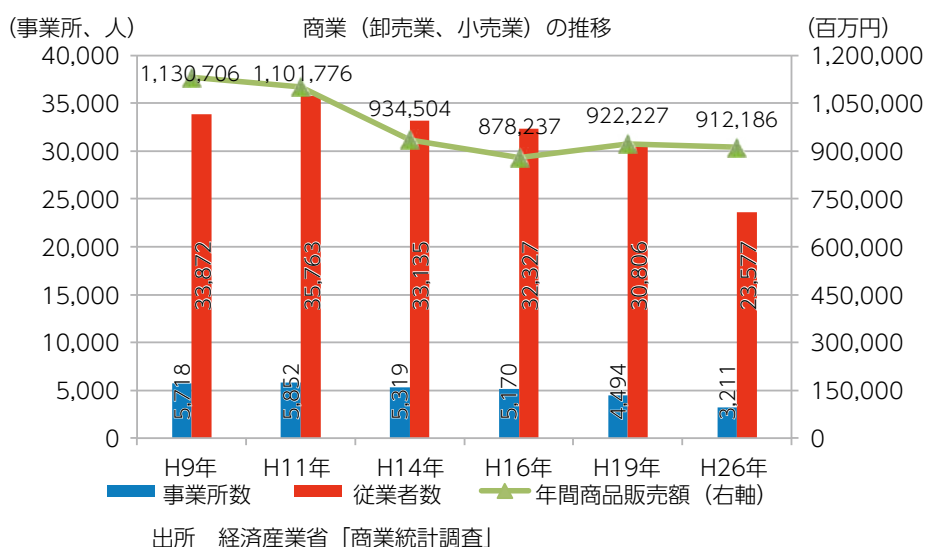
一方、市内には、繊維工業など地域に根ざした地場産業*¹¹⁴が古くから集積していますが、基礎素材*³⁹・中間財*¹⁹⁵生産のウェイトが大きく、十分な付加価値や認知度を得られていないという課題を抱えています。磨いた技術力やデザイン力により生み出した製品を自社ブランドや地域ブランドとして確立し、付加価値の更なる向上を図る必要があります。

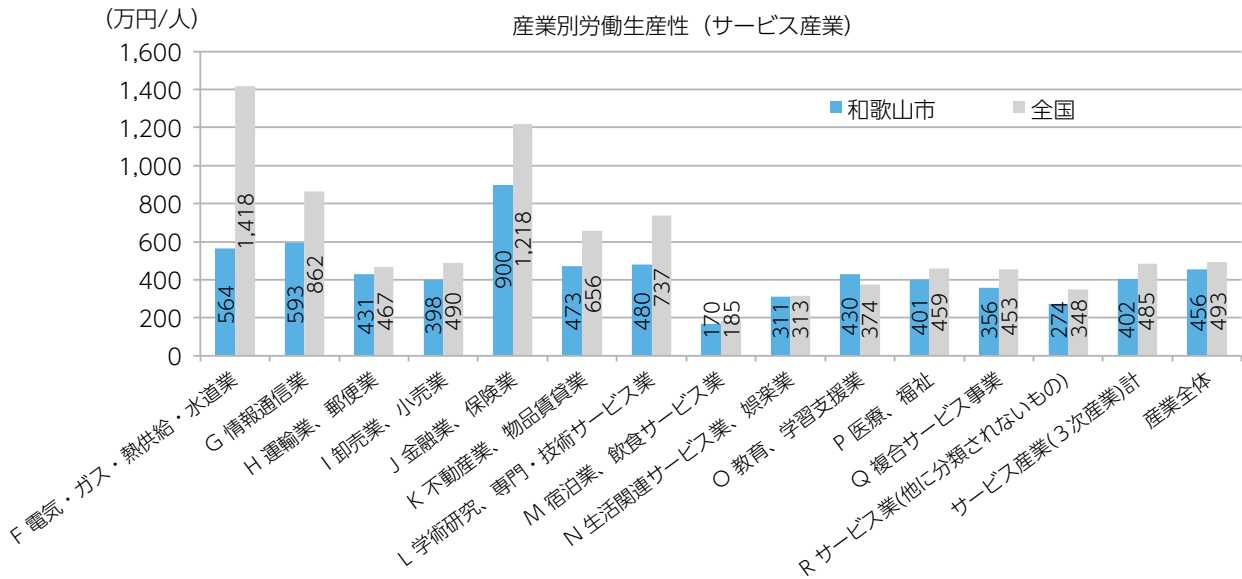


出所 経済産業省「平成26年工業統計調査」を基に和歌山市作成



本市のサービス産業における事業所数・従業者数・付加価値額は、いずれも卸売業・小売業の占める割合が最も高くなっています。しかし、周辺市町村の発展等に伴う商圈の縮小、郊外への大型店の出店によって、市内中心部の商業地域の衰退などが進み、卸売業・小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額はいずれも減少傾向にあります。また、本市のサービス産業の労働生産性は、全国水準を下回っていますが、主な産業である卸売業・小売業や医療・福祉の労働生産性の低さが大きな要因です。地域資源の活用等により魅力的な商品・サービスを生み出し域内消費の拡大を図るとともに、ICT^{*1}の活用等による業務の効率化を図るなど、サービス産業の生産性を向上するための取組が必要です。





出所 総務省「平成24年経済センサス活動調査」を基に和歌山市作成

1-2 新たな事業の創出と産学官金・異業種連携^{*95}の促進

本市は、開業率と廃業率がともに全国平均より低く、産業の新陳代謝が進みにくい状況にあります。創業者の育成や事業承継の円滑化、第二創業^{*178}への活性化に向けた取組を進めるとともに、産業間・産学官金等の連携を促進することにより、新たなイノベーション^{*13}が起こりやすい環境づくりを進める必要があります。

また、本市は国際拠点港湾^{*80}である和歌山下津港を有し、関西国際空港に近いという立地の優位性に加え、第二阪和国道^{*179}や京奈和自動車道^{*58}の整備が進められ、大阪・奈良・京都・名古屋など各方面へのアクセスが向上するなど、利便性の高いエリアとなっていることから、この強みを生かし総合的に企業立地を進める必要があります。

開業率と廃業率

	開業率	廃業率
全国	6.33%	6.75%
和歌山県	4.24%	5.80%
和歌山市	5.33%	6.26%

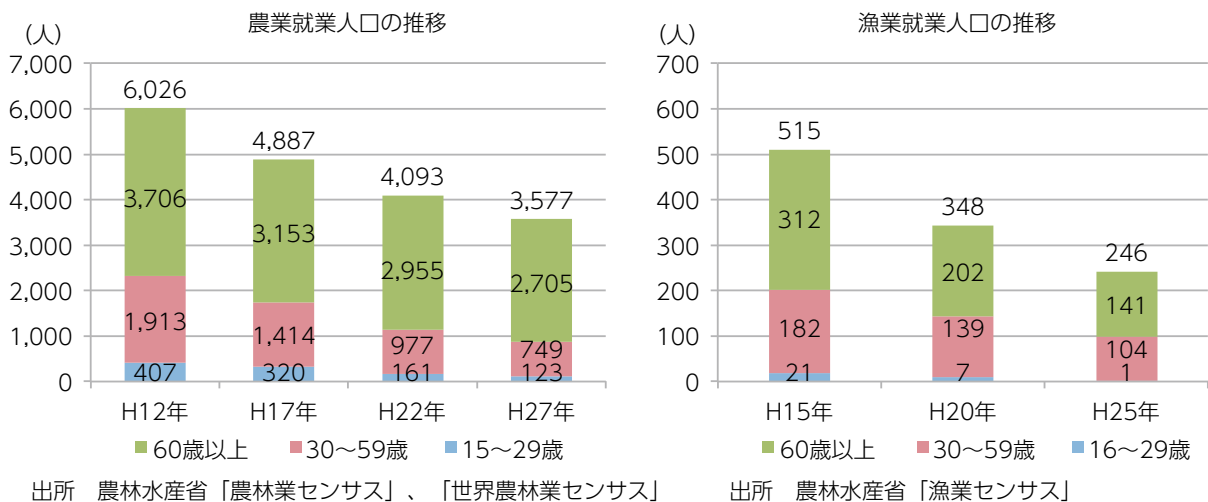
出所 総務省「平成24年経済センサス活動調査」、「平成26年経済センサス基礎調査」を基に和歌山市作成

1-3 農林水産業の活性化

本市の農業は、水稻を中心に野菜・果樹を取り入れた複合経営を営み、沿岸部に広がる砂地農業地帯での大根やショウガなどの根茎菜をはじめ、紀の川の両岸に広がる水田地帯の米とキャベツ、はくさい等の裏作野菜の栽培など、都市近郊型農業^{*214}として近代化を進めてきましたが、近年農業就業人口、農産物出荷量とも減少が続いています。就業者のうち、60歳以上の割合が平成17年（2005年）から平成22年（2010年）の間で64.5%から72.3%へと増加し、農業者の高齢化や後継者不足に加え、都市化に伴う農地の減少や耕作放棄地^{*69}の増加という課題を抱えています。

また、本市の漁業も就業人口が減少しており、高齢化と後継者不足が問題となっています。特産物としてシラス、アジアカエビ、マダイなどがあるものの、シラスについては数年で漁獲高が大きく減少するなど、水産資源・漁場の減少等の漁場環境の変化による漁業生産量が減少しているため、つくり育て管理する漁業を推進する必要があります。

将来の地域を担う農業、漁業の担い手の育成・確保を推進するとともに、6次産業化^{*275}や農商工連携^{*229}による地域内生産物等の高付加価値化・生産性の向上に向けた取組を推進し、経営基盤の強化を図る必要があります。また、国際競争の激化に的確に対応し、国際市場において確固たる地位を確立するためにも、強い農林水産業づくりが求められています。

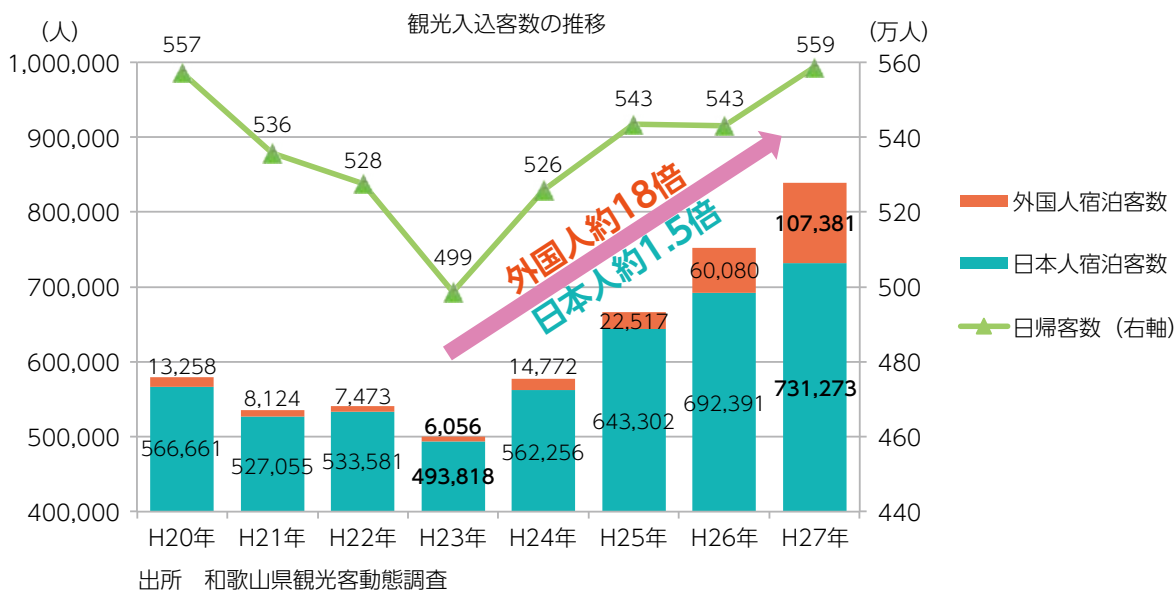


1-4 観光の稼ぐ力の強化

本市には、史跡*¹⁰⁶ 和歌山城、加太・友ヶ島に代表される、自然、歴史・文化などに関する魅力的な観光資源が豊富に存在します。これらの資源をより魅力のあるものに整備し、活用するとともに、市民等の郷土愛を育み、おもてなし力と発信力の向上を図り、観光客が安心して快適に周遊・滞在できる受入体制の整備を進める必要があります。また、地域資源の洗い出しや地域の特性を生かした魅力的な観光滞在プログラム等の造成による地域ブランド力の強化を図るとともに、効果的な観光プロモーションや広域連携により観光客誘致を進める必要があります。

さらに、観光客の来訪を消費の増加に結びつけることで、地域経済における需要の縮小を補完する役割が期待できるため、滞在型旅行商品*¹⁷⁷の造成などの取組を進め、観光消費の拡大に努める必要があります。

本市の近年の観光入込客数は、平成23年（2011年）以降増加が続いています。その増加を支えているのが、外国人観光客の急増であり、平成27年（2015年）中の外国人宿泊客数は約11万人で、前年比で約1.8倍、平成23年（2011年）比では約1.8倍にのぼります。外国人観光客による経済効果は大きいと、戦略的な分析に基づくターゲットの設定によるPRや商品づくりなどの取組を行い、関西国際空港からのアクセスの良さ等の長所を生かしながら、外国人観光客の増加による更なる観光消費の拡大に努める必要があります。



1-5 国際交流の推進

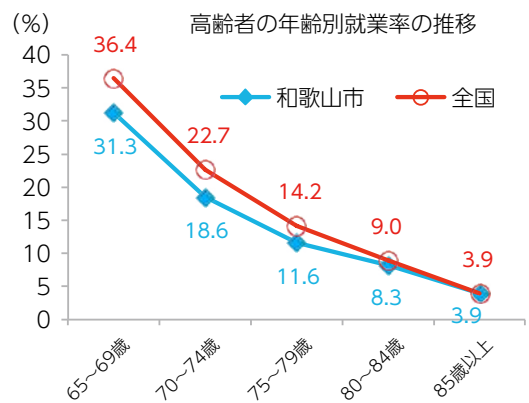
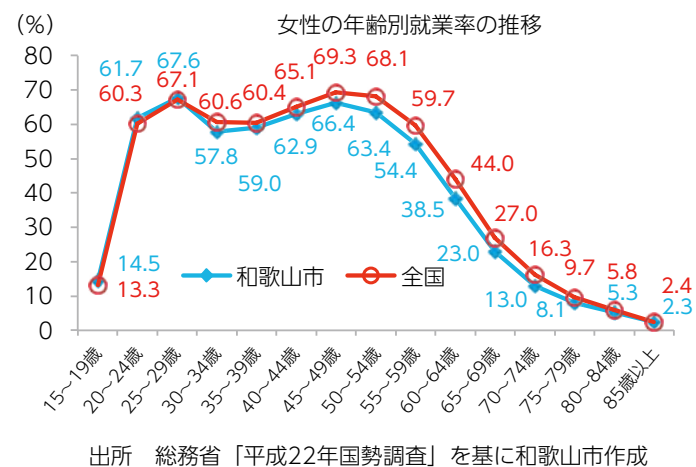
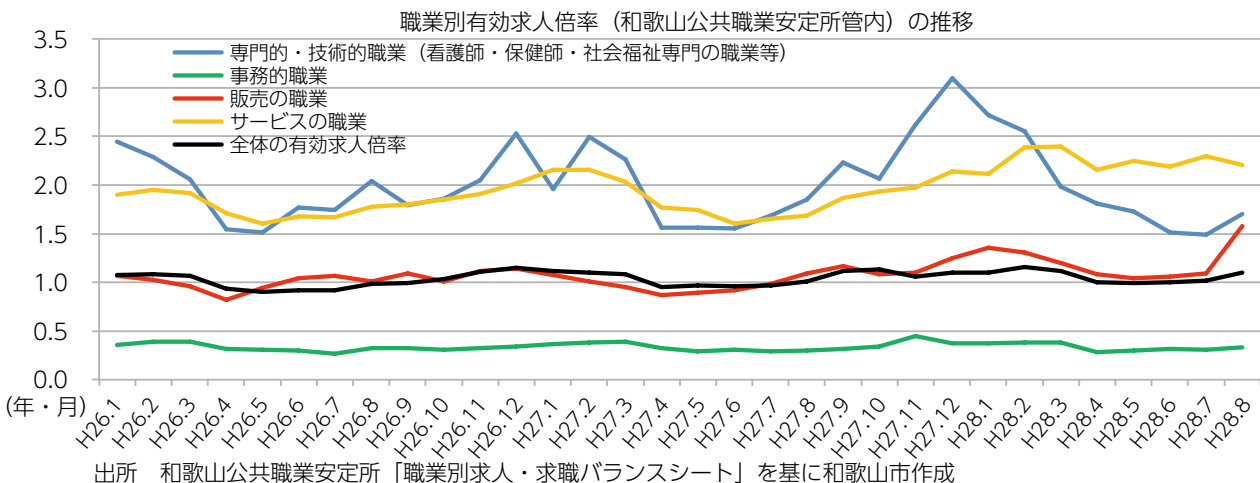
本市の平成28年(2016年)4月現在の在住外国人人口は3,281人であり、地域社会の活性化に向け、多様な文化を持つ人々を含めた市民が共生できるまちづくりへの取組を進める必要があります。市民の国際感覚を醸成し、相互理解を深めていくために、定期的な親善訪問に加えて、民間交流や青少年交流など有意義な交流事業を行うなど、諸外国との文化交流、観光交流などを促進させるための方策を講じ、民間主体の交流の促進を図ります。

また、国の垣根を越えた経済活動が活発化する中、国際競争力を強化する必要がありますが、本市の魅力・地場産品が海外において十分な評価が得られていないため、魅力発信や販路拡大に向け、総合的な国際戦略を推進する必要があります。

1-6 産業を支える「人」の確保

和歌山公共職業安定所管内の有効求人倍率^{*265}は、平成22年(2010年)から年々上昇している一方、本市では、市内に大学が少ないこと等により若年層が市外に転出し、事業所では人材の高齢化等による人材不足が懸念されています。また、専門的・技術的職業の有効求人倍率が高水準であり人材不足が顕著となっている一方で、事務的職業では求人数の2倍以上の求職者がいるなど、労働市場のミスマッチ^{*274}が生じていることに加え、女性及び高齢者の就業率、女性の正規雇用率が低い状況となっています。

このため、企業見学会の開催、インターンシップ^{*14}の充実等により人材の確保や専門性の高い人材の育成に努めるとともに、働く意欲のある高齢者や女性等のニーズに応じた就労支援や雇用環境の整備を推進する必要があります。また、労働者福祉の充実、労働環境の向上に取り組み、誰もが働きやすい環境づくりを進める必要があります。



- 分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 政策 1-1 地域を支える既存産業の振興
- 施策 1-1-1 地域を支える既存産業の振興



吊り編みニット製造工場

〈めざす10年後の姿〉

地元和歌山産の魅力的な商品・サービス等の充実により市民の市産品に対する愛着が増し、市内消費が拡大するとともに、自社ブランドや地域ブランドが創出され、新たな市場での販路が開拓されている。

取組方針1 製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進

企業訪問を積極的に行い、本市の産業振興の基礎となる企業情報の収集を強化し、収集した中小企業情報をもとに、地域経済への波及効果が高いと考えられる支援策や支援対象企業の検討を行います。また、本市の中核的企業として発展が見込まれる企業に対し、新たなビジネスチャンスの創出等により成長の促進を図るため、新製品の開発、販路開拓、他企業との連携に関して、国や県の施策の活用を含めた支援に取り組みます。

取組方針2 歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

繊維、木材、家具、皮革などの地場産業^{*114}について、技術革新やデザイン性等の高い製品の開発を促進し、付加価値の高いものづくりを支援します。また、見本市や展覧会への出展、その他PRの強化により認知度の向上を図るとともに、県等と連携しながら海外の展示会への出展を支援するなど、海外を含む新たな市場での販路開拓を促進します。さらに、海外製品等との差別化を図り、競争力を高めるため、企画提案型で自社ブランド・地域ブランドの創出を図る企業を積極的に支援します。

取組方針3 地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

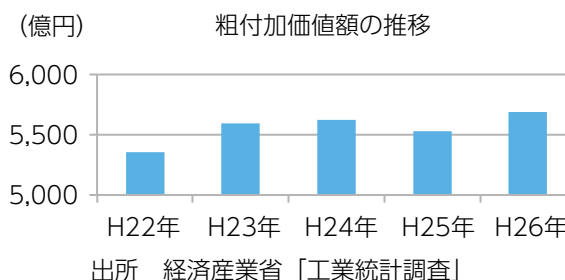
サービス産業の労働生産性^{*273}を高めるため、先進的な取組事例等の導入や研修会の開催等を支援します。また、個店の魅力を高めた集客力向上の取組をはじめとする多様なニーズへの対応やサービスの差別化等に関する取組を促進するとともに、まちづくり会社^{*255}や商店街、商工会議所と相互に連携し、多様なサービスの提供による商業の活性化を図ります。中央卸売市場の再整備については、コールドチェーン^{*78}の導入による生鮮食料品等の品質管理の実現や、市場の現状を考慮した機能的でコンパクトな施設をめざすとともに、市民からも親しまれる市場づくりに努めます。

まちづくり指標	基準値	目標値 (H38年)
粗付加価値額 ^{*9}	5,691億円 (H26年)	6,412億円
サービス産業の労働生産性	402万円/人 (H24年) (※485万円/人)	全国平均

※は全国平均 (H24年)



紀州箸



役各主体の割	市民	地元産品の購入に努め、地産地消を推進する。
	地域・NPO等	魅力ある商店街づくりや人材育成等に事業者と連携して取り組む。
	事業者	海外製品等との差別化を図り、自社ブランドや地域ブランドを創出する。多様なニーズへの対応やサービスの魅力向上に取り組む。
関係部	産業部 農林水産部	
関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン わかやまリノベーション推進指針	

分野別目標 1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策 1-2	新たな事業の創出と産学官金・異業種連携の促進
施策 1-2-1	新たな事業の創出と産学官金・異業種連携 ^{*95} の促進



創業セミナー

〈めざす10年後の姿〉

業種の垣根を越えた共同開発や取引など有機的なつながりが形成され、新規創業や新たな事業の創出が活発になることで、産業の新陳代謝が進み、経済が活性化されている。

取組方針 1 新たな事業の創出と創業者の育成

創業を支援する関係機関と連携し、創業前から創業後に至るまでの各ステージに応じた切れ目のない支援に取り組むとともに、既存企業が新たに取り組むビジネス（第二創業^{*178}）を支援し、新事業の創出を図ります。また、融資制度の充実などにより女性やアクティブシニア^{*7}層の創業を促進するとともに、遊休不動産の再生や利活用^{*263}を図る取組を支援するなど、市内で起業しやすい環境を整備します。

取組方針 2 地域特性を生かしたコラボレーションの促進

化学、繊維、皮革といった地場産業^{*114}の集積を生かした製造業等の企業間連携による新商品開発等を支援することにより、地域ブランドの創出と競争力の強化を図ります。また、異業種交流の場の提供、企業訪問等によるコーディネート機能の強化を図り、企業間・産業間・産学官金労連携を促進し、新たなイノベーション^{*13}が起りやすい環境づくりを進めます。さらに、日頃関わることの少ない第1次、第2次、第3次産業者相互のマッチングやネットワークづくり、販路開拓を支援することで、6次産業化^{*275}を推進します。

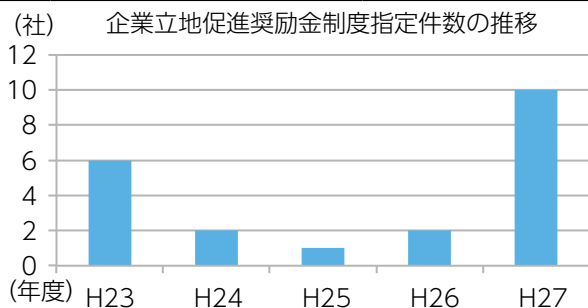
取組方針 3 和歌山の魅力を総動員した企業立地の推進

企業立地に必要な情報を収集するため、金融機関・シンクタンク^{*151}や県との連携を図るとともに、交通アクセスや基幹道路網^{*36}、工業用水道など充実した産業基盤に加え、都市部と比較した暮らしやすさなど、多角的な視点から本市の持つ魅力を首都圏等において発信します。また、利便性の高いインターチェンジ周辺等に、新たに企業立地の促進を図るとともに、新規立地や事業規模を拡大しやすい環境を整備するため、企業立地に関するワンストップ窓口の活用や企業立地促進奨励金制度^{*37}の充実、誘致した企業への継続的な支援、規制緩和等新たな企業支援施策にも取り組みます。

まちづくり指標	基準値	目標値（H38年度）
創業件数	83件（H27年度）	680件（10年間の累計）
企業立地による新規雇用者数	51人（H25年度） ※H25年度に企業立地の指定を受けた企業が新規に雇用した人数	840人（10年間の累計）



企業立地協定調印式



の各 役主 割体	市民	強みや特色のある本市事業者の産品を積極的に活用する。
	事業者	市や産業関係団体が行う産業の振興に関する事業を積極的に活用するなど、新しいことにチャレンジする意欲を持つ。

関係部	産業部 農林水産部
-----	-----------

関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン 和歌山市創業支援事業計画 わかやまりノベーション推進指針
----------	---

分野別目標 1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち

政策 1-3 農林水産業の活性化

施策 1-3-1 **農林業の振興**

〈めざす10年後の姿〉

農林業が魅力ある産業になり、農業所得の向上が図られ、農林業経営が安定しているとともに、農地の保全が図られている。



寒玉キャベツと打ち抜き井戸

取組方針 1 担い手の育成・確保

認定農業者^{*226}や認定新規就農者^{*225}の育成を図るため、継続的な支援を行います。また、意欲ある農業者の法人化に向けた取組を支援するとともに、多様な主体による農業の担い手の育成・確保を図ります。

取組方針 2 農地の保全と生産基盤の充実

農地や農道、農業水利施設等の農業生産基盤や関連施設の維持・整備を図るとともに、農業振興地域整備計画^{*227}の適切な運用に基づき、優良農地^{*266}を確保し、適正な農地管理を図ります。また、農地中間管理機構^{*230}と連携するなど、担い手への農地利用集積を推進するとともに、遊休農地の発生防止と解消に取り組みます。

取組方針 3 豊かな産地の育成

消費者ニーズと合致した高付加価値作物の研究・普及を関係機関と連携して行い、ブランド化を図ります。また、国・県等の制度を活用し、農業用機械や生産施設の導入を支援し、農業の効率化を促進するとともに、水田の高度利用による施設野菜や露地野菜の生産拡大を図り、複合経営への転換を図ります。

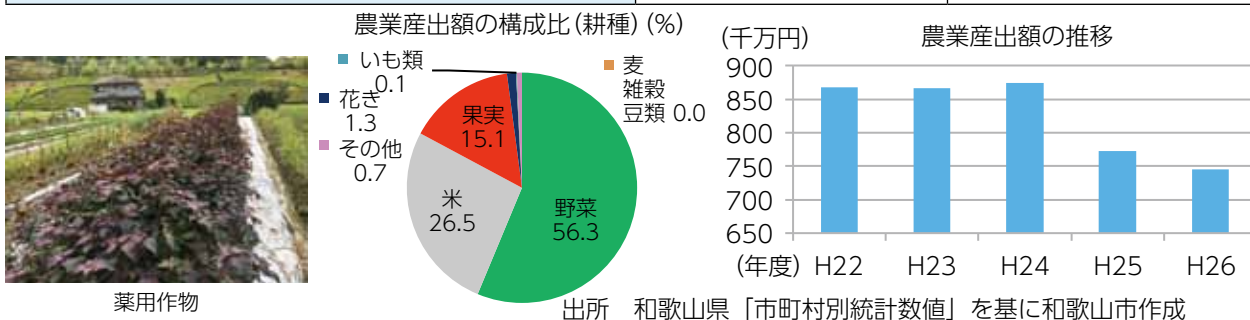
取組方針 4 農業と環境の共生

農業・農村の多面的機能^{*228}の発揮や有機栽培^{*262}など環境に配慮した取組を支援するとともに、市民農園や体験型農園などにより市民が農業や自然に接する機会を提供します。また、有害鳥獣^{*261}の被害防止対策を推進します。

取組方針 5 農業振興のためのネットワーク強化

農産物の付加価値を高める農産加工を促進することにより6次産業化^{*275}や農商工の連携を強化します。また、イベント開催やPRなどにより本市農業に関する情報を国内外へ向けてセールスするとともに、グリーンツーリズム^{*54}について検討を進めます。さらに、食育^{*148}と連携した地産地消を推進します。

まちづくり指標	基準値 (H26年度)	目標値 (H38年度)
農業産出額	745千万円	745千万円



の各 役主 割体	市民	自然や農業への理解を深め、地産地消を心がける。
	事業者	生産性と収益性の高い農業の確立、地域農産物のPRに努め、担い手の確保に取り組む。

関係部	農林水産部 産業部 農業委員会事務局
-----	--------------------

関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン 和歌山市農業振興基本計画 和歌山市農業振興地域整備計画
----------	--

- 分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 政策 1-3 農林水産業の活性化
- 施策 1-3-2 水産業の振興



増殖場設置

〈めざす10年後の姿〉

つくり育て管理する漁業を推進することにより、魅力的な水産物が安定的に供給され、漁業従事者の生活が安定している。

取組方針1 つくり育て管理する漁業の推進

水産資源の増殖をめざし、ヒラメ・マダイ等の中間育成^{*197}と種苗放流^{*127}を行うとともに、漁業者が行うアサリ等の増殖事業に対し支援を行うなど、とる漁業からの転換を推進します。また、漁場の生産力を高めるため、人工魚礁^{*155}等を設置し漁場の整備を推進します。

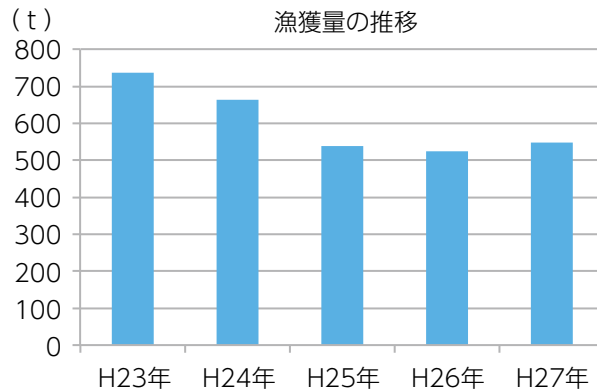
取組方針2 漁業経営の安定化の推進

新技術導入などにより水産物の高付加価値化と水産加工品の品質向上に取り組むことで、漁業経営の安定化をめざすとともに、後継者や担い手の育成を推進します。また、ブランド化や地元水産物のPRにより、魚食普及と地産地消の推進に取り組みます。

取組方針3 漁業を取り巻く環境の整備・保全

漁業環境の整備を図るとともに、漁港機能の充実と維持管理に努めます。また、漁港施設を有効活用したマリレジャーとの共存を図り、海洋レクリエーション機能^{*26}の充実を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年)	目標値 (H38年)
漁獲量	547.4t	547.4t



種苗放流 (マダイ)



雑賀崎漁港での鮮魚の直接販売

の各 役主 割体	市民	自然や水産業への理解を深め、地元水産物の消費拡大に努める。
	事業者	禁漁区及び期間を設定し水産資源の保護に努める。また、水産物のブランド化や魚食の普及、加工品開発に取り組む。
関係部	農林水産部 産業部	
関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン	

分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち

政策 1-4 観光の稼ぐ力の強化

施策 1-4-1 **観光客受入体制の整備**



わかちか広場のリニューアル

〈めざす10年後の姿〉

市民・事業者・行政による心のこもったおもてなしや魅力的な観光資源により、観光客が気軽に訪れ、安全、快適に旅を楽しんでいる。

取組方針1 おもてなし力の強化

事業者や市民を対象に、接客や観光への啓発などの研修を行うことで、おもてなし力の向上を図るとともに、地域への愛着を育みます。また、着地型観光^{*194}のコーディネートが可能な人材の育成により、あらゆる主体による観光施策を展開し、すべての観光客が安全、快適に楽しんでいただけるよう努めます。

取組方針2 観光基盤の充実

案内機能や公共交通等の交通機能を充実させることにより利便性・快適性の向上に努めるとともに、外国人観光客に対する外国語表記案内や公衆無線LAN^{*71}環境の整備等により、市内の観光基盤の保全・充実に努めます。また、わかちか広場を整備し、観光拠点としての活用を図ります。

取組方針3 観光資源の魅力向上

二の丸御殿（大奥）^{*221}の復元や扇の芝^{*22}の整備など、和歌山城及び周辺整備を進め、歴史・文化が薫る城下町としての魅力向上に取り組みます。また、友ヶ島やサイクリングロード、中央卸売市場に隣接する道の駅の地域振興施設の整備などに取り組みるとともに、統合型リゾート（IR）^{*207}の誘致の検討を進めます。

取組方針4 地域資源を活用したブランド力の強化

大学、鉄道事業者、旅行会社等の関係機関と連携し、地域資源の洗い出しと再評価を行い、魅力的な着地型旅行商品等を造成するとともに、和歌浦をテーマにした日本遺産^{*222}の認定をめざすなど、本市の地域資源を組み合わせたストーリーづくりに取り組むことで、ブランド力の強化を図ります。

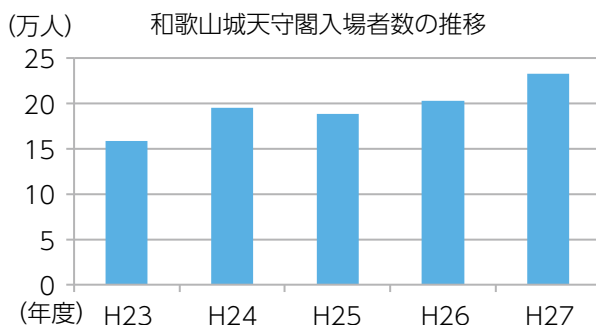
まちづくり指標	基準値（H27年度）	目標値（H38年度）
友ヶ島入島者数	58,718人	96,000人
和歌山城天守閣の入場者数	233,102人	380,000人



和歌山城の魅力向上



友ヶ島の砲台跡



各主体の役割	市民	市内の地域資源に愛着を持ち、観光客に対しおもてなしの心で接する。
	地域・NPO等	地域における観光資源の魅力向上・発信に努める。
	事業者	観光客の立場に立った受入体制の整備に努め、官民一体で満足度向上に取り組む。

関係部	観光国際部 政策調整部 企画部 産業部 農林水産部 道路部 教育総務部 生涯学習部
-----	--

関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン 史跡和歌山城整備計画
----------	----------------------------

- 分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 政策 1-4 観光の稼ぐ力の強化
- 施策 1-4-2 観光客の誘致



外国人観光客に人気のおもてなし忍者

〈めざす10年後の姿〉

国内外からの観光客が増加し、観光消費が増大することで、新たな雇用が創出されるなど市内経済が活性化している。

取組方針1 ターゲットを絞った積極的な観光情報の発信

観光統計^{*32}や経済情勢等に基づくデータ分析、マーケティングを行い、誘客ターゲットを選定した上で、市民や関係団体等と連携し、ターゲットに応じた効果的な情報発信とプロモーションを推進します。

取組方針2 外国人観光客の誘致促進

本市への来訪外国人の大部分を占めるアジア諸国に加え、大きな観光消費が期待できる欧米諸国などターゲットを設定するとともに、それぞれのニーズに応じ、WEB^{*15}やSNS^{*19}を活用した情報発信やプロモーションなどの取組を進め、誘客拡大を図ります。また、ファムトリップ^{*239}を誘致し、旅行会社やブローカー^{*242}を活用した観光客誘致を図ります。

取組方針3 多様な誘致活動の展開

県内外の観光地との広域連携を図り、相互に観光客を誘致する仕組みを構築します。また、関係機関への積極的な働きかけにより、コンベンション^{*92}誘致を推進するとともに、クルーズ船の入港受入体制を強化し、誘致を推進します。

取組方針4 観光客消費喚起の仕組みづくり

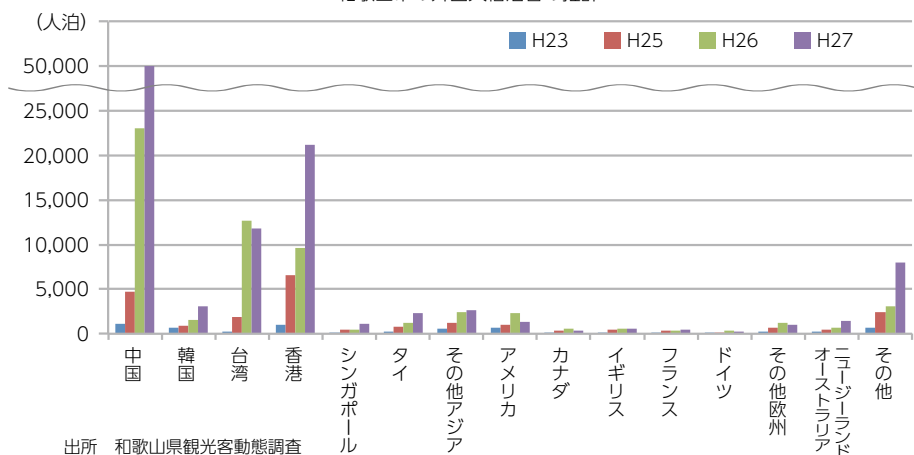
本市でしかできない体験型プログラム^{*176}の開発やイルミネーションなど夜間の観光を楽しむための取組により、来訪意欲を高め、滞在時間の延長を図ります。また、ホテル誘致や富裕層をターゲットとした質の高い宿泊プランの造成を推進することで、宿泊客の増加、観光消費の拡大に努めます。さらに、DMO^{*203}による地域資源を活用した旅行商品や地域商品の開発などにより、地域内消費拡大に取り組めます。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
観光消費額	43,951百万円	52,870百万円
年間宿泊客数	839千人泊	1,110千人泊

和歌山市の外国人宿泊客の推計



歴史衣装体験



出所 和歌山県観光客動態調査

各主体の役割	市民	インターネットの活用等様々な方法で情報を発信する。
	地域・NPO等	地域の観光資源について魅力を発信する。
	事業者	ターゲットに応じた情報発信や商品開発に取り組む。
関係部	観光国際部 企画部 産業部 農林水産部	
関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン	

- 分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 政策 1-5 国際交流の推進
- 施策 1-5-1 国際交流の推進

〈めざす10年後の姿〉

姉妹・友好都市をはじめ、都市間交流が活発に行われている。



姉妹都市との交流
(アメリカ・ベイカースフィールド市)

取組方針1 諸外国との交流の推進

姉妹・友好都市との青少年交流や諸外国との民間交流（文化交流、観光交流など）を推進し、相互理解を深めます。

取組方針2 在住外国人への支援拡充

在住外国人を対象とした日本語教室や防災講座等を実施し、安心・安全の生活支援を拡充するとともに、生活情報等を在住外国人に情報発信し、生活の利便性を高めます。

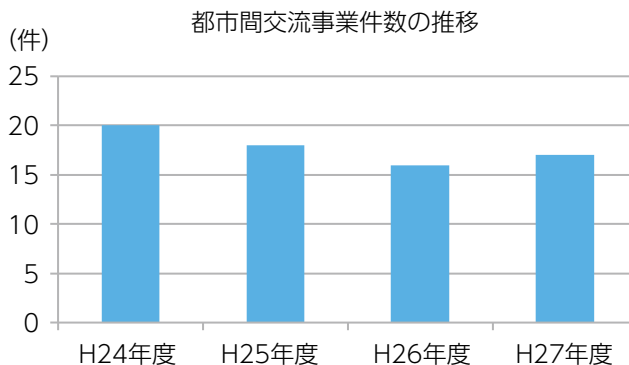
取組方針3 地域レベルの国際交流推進

市民を対象とした外国語教室の開催や国際交流員^{*81}による国際理解教育^{*82}を実施します。また、市民と在住外国人等との交流を促進するなど地域レベルでの国際交流の進展を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
姉妹・友好都市及び諸外国との都市間交流事業件数	17件	28件



台湾夜市
(和歌山市内での文化交流イベント)



役各 主 体 の 割	市民	諸外国との交流事業等への参加により、国際理解を深める。
	地域・NPO等	市と協働 ^{*49} して様々な国際交流を促進する。
	事業者	民間交流を支援する。

関係部	観光国際部 産業部
-----	-----------

関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン
----------	--------------

- 分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 政策 1-5 国際交流の推進
- 施策 1-5-2 国際戦略の推進

〈めざす10年後の姿〉

海外において和歌山市の魅力や地場産品が国際的に評価され、市内産業の発展や経済の活性化につながっている。



上海で開催された見本市への出展（皮革）

取組方針1 国際戦略の策定

ものづくり産業や農林水産物、加工品、海外誘客など、分野別にターゲットとなる国・地域を定めた国際戦略を策定します。

取組方針2 海外展開の促進

関係機関との連携を強化し、企業等の国際競争力のある商品づくり、販路拡大、人材育成を支援するとともに、本市の魅力在海外に積極的に発信し、観光誘客や地場産品の輸出拡大を図ります。

まちづくり指標	基準値（H27年度）	目標値（H38年度）
主な販売先を「海外」としている市内製造業の割合	1.5%	2.6%
観光消費額（外国人）	2,932百万円	8,277百万円



WA KNIT made in WAKAYAMA, JAPAN

和歌山ニットのロゴマーク



パリで開催された国際的な繊維の見本市「プルミエール・ビジョン」への出展（和歌山ニット）

の各 役主 割体	市民	インターネット等を活用し、本市の魅力を積極的に発信する。
	事業者	国際競争力のある商品開発や海外への販路拡大に努める。

関係部	産業部 観光国際部 農林水産部
-----	-----------------

関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン
----------	--------------

- 分野別目標1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
- 政策 1-6 産業を支える「人」の確保
- 施策 1-6-1 産業を支える「人」の確保



企業ウォッチング

〈めざす10年後の姿〉

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環が確立され、誰もがいきいきと働くことができる環境が整っている。

取組方針1 人材の確保と育成

地域資源を活用し、本市で暮らし働く魅力を体感してもらえるようなシティプロモーション^{*112}を実施することで、移住・定住の促進を図るとともに、都市部における企業面接会の実施やインターンシップ^{*14}の充実、奨学金返還に対する助成などに取り組み、若い世代の人材確保に努めます。また、専門性の高い大学の誘致等による高等教育機関^{*74}の充実を図り、人材不足が懸念される医療・福祉・介護分野の担い手など、需要が見込まれる分野を支える人材の育成を図ります。

取組方針2 誰もが働きやすい環境づくり

女性を対象とした企業面接会や子育て世代の母親のための就職相談等により、女性の就職・創業を支援するとともに、出産・育児等を機に離職した女性が安心して再就職できるよう、スキルアップに関する国の支援制度の活用を図ります。また、高齢者がこれまで培った経験や技能を生かし、労働力の一翼を担いながらいきいきと自立した生活を送れるよう、国やシルバー人材センター^{*150}など関係機関と連携した就労支援を行うとともに、障害者の働く場の確保や開拓などの取組も強化します。さらに、事業者の女性や高齢者等の活躍推進への取組に対する意識の向上を図ります。

取組方針3 労働者福祉の充実と労働環境の向上のための支援

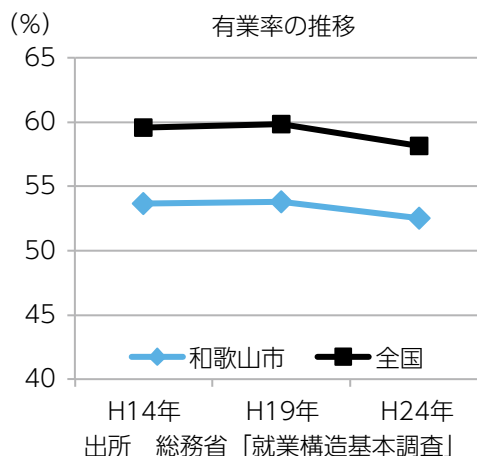
和歌山市中小企業勤労者福祉サービスセンター^{*280}及び勤労者総合センター事業や和歌山市人権啓発企業連絡会及び労働関係団体の支援を通じ勤労者の労働環境の充実に取り組みます。また、企業のワーク・ライフ・バランス^{*276}への取組を支援するなど働き方改革を推進します。

まちづくり指標	基準値 (H24年)	目標値 (H34年)
有業率 ^{*264}	52.5% (※58.1%)	全国平均

※は全国平均 (H24年)



女性のための就職活動応援フェア



各主体の役割	市民	就労意欲を持ち、地元への就職を希望する意識を高め、各種就職支援事業等に参加する。
	事業者	経営基盤の安定、就業機会の確保、人材の育成及び福利厚生の充実に努める。
関係部	産業部 政策調整部 市民部 社会福祉部 こども未来部 教育総務部 生涯学習部	
関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン	